

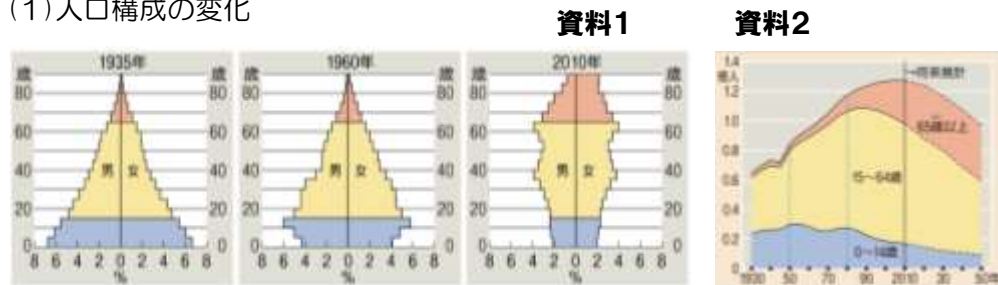
2 日本の人口と過疎・過密問題

課題 日本の人口には、世界と比べてどのような特色があるのだろう。

2年 組 番

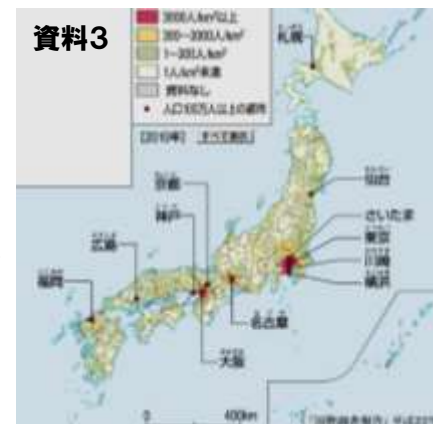
氏名

(1)人口構成の変化



(2)人口分布の変化

①資料3を見ると、東京、神奈川、大阪、愛知などの都府県への集中が著しく、人口分布のかたよりが大きくなっていることがわかります。そのことに関わって、**三大都市圏**、**地方中枢都市**、**政令指定都市**などが形成されていきました。太字になっている語句について、教科書P.288～の用語解説から、その用語について簡単にまとめ説明してみましょう。



①資料1は日本の人口ピラミッドの変化を示しています。また、資料2は日本の人口の移り変わりについて示しています。この2つの資料から分かることをまとめた文を見て、【 】にあてはまる語句を書きましょう。教科書P.158

資料1の人口ピラミッドの変化を見ると、1935年は年齢の低い子どももほとんど数が多い【 】型になっています。1960年は子どもの数とお年寄りの数の差が1935年よりも小さい【 】型、子どもの数が少なくなり、2010年にはお年寄りの数が多い【 】型へと変わってきています。資料2と合わせて見ると、1980年から高齢化が急速に進み、これに少子化が加わって【 】が進んでいることがわかります。

②資料2から今後の日本の人口はどのように変化していくと考えられますか。自分の考えを書いてみましょう。教科書P.158

三大都市圏	
地方中枢都市	
政令指定都市	

②下の文の【 】に語句を入れましょう。教科書P.159

大都市では「過密問題」をかかえているだけでなく、地価が高かったことから起こる【 】現象が起こっていました。しかし、地価が下がると、再び都心に近い地域で人口が増加する【 】現象が起こっています。

【まとめ】今回の学習で分かったことや、考えたことを書いてみましょう。